

令和6年度 長野日本大学中学・高等学校 学校評価報告書

長野日本大学中学・高等学校

学校運営計画に設定した目標

国際バカロレアの新たな学びを迎え入れる準備をしたうえで、生徒・保護者・職員の安心安全な学びを実現する。

実施計画

実施時期 令和6年12月

実施対象 教諭・常勤講師 生徒・保護者

株式会社ヒューマン・リンクによる評価

昨年度との変化 重要目的および第三者評価を実施したため実施期間や内容を変更した

実施手順

12月 授業評価アンケート実施（教員自己評価含む）

12月 教員向けアンケート結果をうけた研修会実施

12月 生徒保護者による学校満足度調査実施

以降 評価に基づく改善計画および教育計画の策定

学校評価実施結果および評価

注 結果内のパーセントは、『1よくあてはまる、2あてはまる、3あまりあてはまらない、4まったくあてはまらない』の選択肢に対し、1+2-3-4の値を示す。

学校活動についての教員自己評価

（中高含む）

質問項目	%
所属学校の教育目標を十分に理解し、日々目標に向けた取り組みをおこなっている。	67
教科指導の目的について十分に理解し、計画的な教科指導を実施している。	52
進路指導の目的を十分に理解し、計画的な指導を実施している。	72
学校行事の目的を十分に理解し、積極的に指導に取り組んでいる。	63
教科・教科外研修へ積極的に参加し、自己研さんしている。	46
生活指導の目的を十分に理解し、指導を行えている。	78
学校施設の美化に対して、積極的に貢献している。	54
所属する部署(学年、分掌、教科)で役割をもち、積極的に部署の活動に参加できている。	54

教員アンケートについては、昨年からおおきな変動はなかった。より各教員が所属間を高め、教科指導力や組織人員としての能力を向上できるような研修を効果的に実施したい。

授業および学校教育に関する項目 対象 高校全生徒・高校担当教員

評価項目	2024年度 第1回				2023年度 第1回				2023年度 第1回との差異			
	1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計
受講態度に関する項目	93%	87%	87%	89%	92%	91%	86%	91%	0%	-5%	1%	-2%
理解に関する項目	76%	66%	74%	72%	73%	75%	80%	75%	3%	-9%	-6%	-3%
関心に関する項目	60%	55%	64%	60%	63%	61%	63%	62%	-3%	-6%	1%	-2%
関心喚起に関する項目	38%	32%	34%	35%	37%	39%	36%	37%	1%	-7%	-2%	-3%
勉強方法に関する項目	19%	21%	43%	27%	15%	19%	46%	22%	4%	2%	-3%	5%
予習復習に関する項目	-70%	-72%	-44%	-62%	-73%	-66%	-33%	-63%	3%	-6%	-11%	1%
学力向上に関する項目	53%	52%	60%	55%	57%	49%	63%	55%	-4%	4%	-3%	0%
信頼に関する項目	80%	72%	76%	77%	78%	81%	82%	80%	2%	-9%	-6%	-3%

総評 全体評価の中では、昨年度と大きな差異はなかった。勉強方法に関する項目は、予習・復習指導を心掛けるよう各教科で取り組んだため、向上が見られた。

授業アンケートにおける特に影響の大きかった項目

学力向上実感と相関の高い項目	差異	
	+	-
授業の重要ポイントがわかりやすい	-5%	0%
自分たちがどれくらい理解しているかをわかっている	-2%	-1%
板書がわかりやすい	-1%	-1%
説明・指示がはっきりしている	-3%	0%
幅広い知識・技術が紹介されている	-4%	0%
関心度と相関の高い項目について	差異	
	+	-
授業の重要ポイントがわかりやすい	-5%	0%
板書がわかりやすい	-1%	-1%
自分たちがどれくらい理解しているかをわかっている	-2%	-1%
説明・指示がはっきりしている	-3%	0%
幅広い知識・技術が紹介されている	-4%	0%

上記の内容については、教員のアンケートからも心掛けている教員数が増加している。また、板書時にIB学習者像を掲示するなどの取り組みを行った。

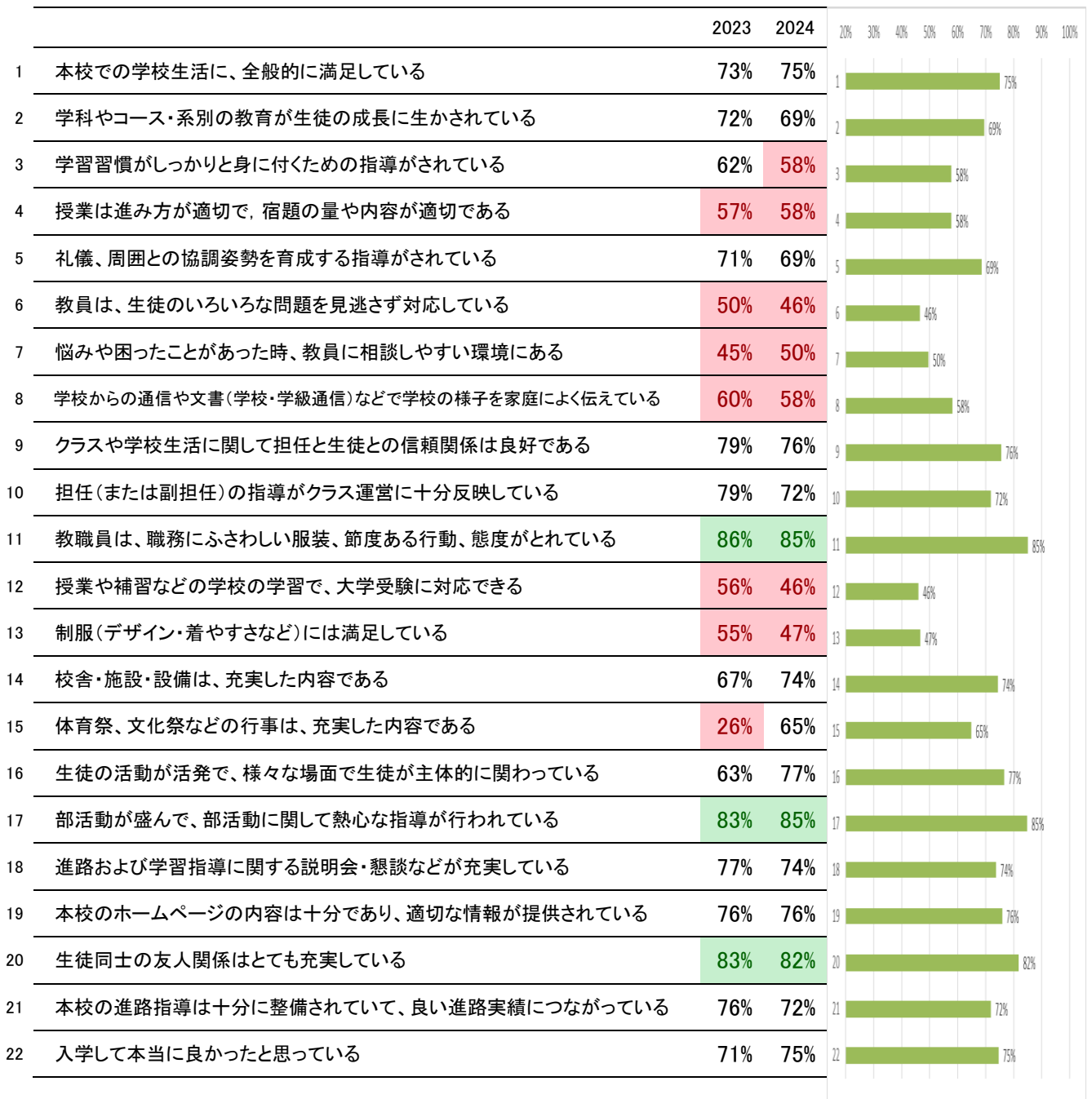
中学校生徒・中学校教員

全教科 全コース	2024年度 第1回				2023年度 第1回				2023年度 第1回との差異			
	1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計
受講態度に関する項目	84%	88%	94%	88%	86%	91%	94%	90%	-2%	-3%	0%	-2%
理解に関する項目	74%	70%	72%	72%	72%	68%	82%	74%	1%	2%	-11%	-2%
関心に関する項目	57%	57%	52%	56%	61%	48%	67%	58%	-3%	9%	-15%	-3%
関心喚起に関する項目	31%	33%	30%	31%	32%	29%	37%	32%	-1%	4%	-7%	-1%
勉強方法に関する項目	11%	11%	-7%	6%	18%	-5%	21%	12%	-7%	16%	-29%	-6%
予習復習に関する項目	-62%	-69%	-71%	-67%	-52%	-58%	-48%	-53%	-9%	-11%	-23%	-14%
学力向上に関する項目	61%	61%	55%	59%	64%	59%	62%	62%	-3%	2%	-7%	-3%
信頼に関する項目	76%	76%	68%	74%	73%	66%	89%	75%	3%	11%	-20%	-1%

関心度と相関の高い項目について	差異	
	+	-
授業の重要ポイントがわかりやすい	4%	- 2%
自分たちがどれくらい理解しているかをわかっている	3%	- 2%
説明・指示がはっきりしている	2%	- 2%
授業に対する熱意が感じられる	0%	0%
板書がわかりやすい	3%	0%

中学校においても昨年から大きな変化は見られなかった。

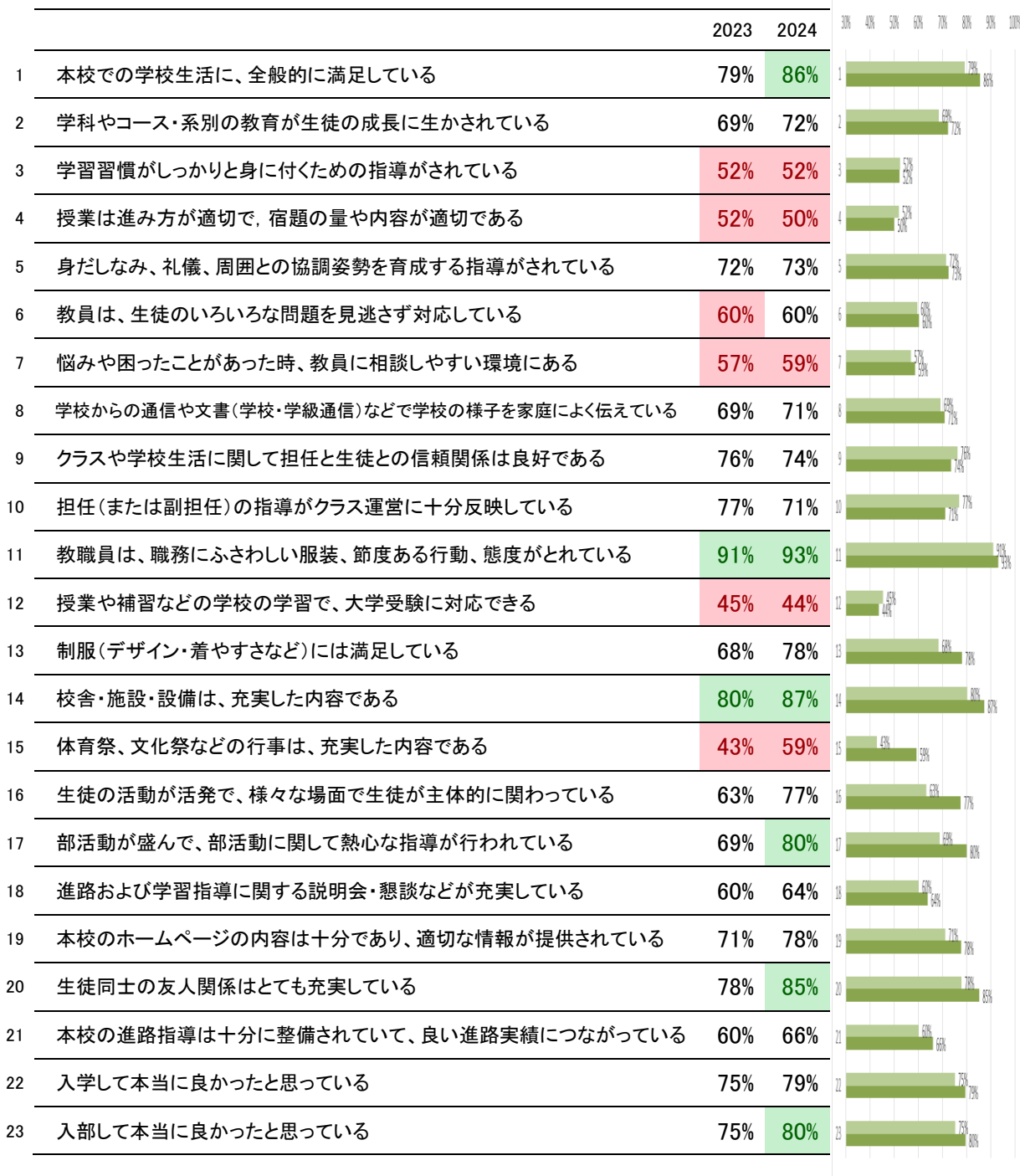
## 中高生徒アンケート



満足度に関しては、昨年から大きな変化なく、高い数値を示した。特に文化祭などに関する項目は、生徒の主体的な取り組みの向上に伴い大きく向上した。

一方で、大学進学などに関する項目は、昨今の総合型選抜の拡大や、大学入試共通テストへの不安などから、減少したことが想定される。学校としてより支援できる体制を整えていく。

## 中高保護者アンケート



保護者の満足度は、昨年度に比べ大きな変化はなかった。学校への全般的な満足度は高い数値を維持している。今後も情報発信や DX ツールの活用を進め、多様なニーズに対応していけるようにしていきたい。

### 次年度への課題

次年度は、各教員からの向上心や、教育活動に関して成長していきたい点について、学校評価をより詳細に行う機会を創出したい。また、生徒保護者アンケートの結果を受けて、次年度の教育計画を改善していきたい。